

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-08 戦傷病者戦没者遺族等援護事業				タイムスコード及び個別事業名				
	□支援部門				10	戦傷病者戦没者遺族等援護事業			
主管課	生活福祉課		関連課						
分野名	健康福祉								
目標 (目標値)	戦没者の遺族に対する援護活動を通じて、戦没者追悼式など戦没者等への追悼の意を表すとともに、平和を祈念するため。								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	決算値	873千円	868千円						
	(国・県)	96千円	79千円				指標と評価		
	(負担金等)						指標		
	(一般財源)	777千円	789千円				評価		
	人員配置数	0.6人	0.8人						
	人件費	5,527千円	7,499千円				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	協働の パートナー	鎌倉市遺族会	鎌倉市遺族会				目標値	実績値	
事務事業 運営経費	総事業費	6,400千円	8,367千円	20年度					
	市民1人当 りの経費	36円	47円	21年度					
	対象者1人 当りの経費			22年度					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度					
				最終年度 ( 年度)					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 戦没者追悼式への高齢遺族の参加しやすい環境づくりについて、引き続き検討が必要である。							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 戦没者追悼式開催にあたり、JR大船駅から会場(鎌倉芸術館)までの送迎バスを運行し、高齢遺族の参加に配慮した。							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 送迎バスの運行も含め、戦没者追悼式への高齢遺族の参加しやすい環境づくりについて、改善点の検証を引き続き行っていく必要がある。							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 送迎バスの運行、会場の選定など、高齢遺族が参加しやすい環境づくりを検証していく。							
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	戦没者等の遺族援護の観点から、今後とも援護を継続していく。		評価結果	改善の必要性	戦没者等の遺族援護として必要な事業でありとして今後も継続していく。高齢化している遺族に配慮した事業の展開が必要である。			
B	有			B	有				
課長名		生活福祉課長 曾根 健治		部名・部長名		健康福祉部長 石井 和子			